



週報

2011～2012年度 国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

No.0920 2012.2.27 第29例会

◆本日のプログラム

2月27日
クラブ協議会

◆理事・役員(2011.7～2012.6)

会 長	藤岡 温	会 計	岡本 和夫	理事・親睦活動	小松 忠男
副 会 長	花房 茂	理事・職業奉仕	丹治 康浩	理事・プログラム	相原 利行
幹 事	原 全伸	理事・社会奉仕	大饗 よし江	理事・ロータリー財団	岡村 秀男
副 幹 事	樋口 芳紀	理事・国際奉仕	原田 徹美	直 前 会 長	川西 熊雄
理事・S.A.A.	山田 喜広	理事・新世代奉仕	小松原 隆代	次 期 会 長	西山 隆三郎
副 S.A.A.	河田 肇	理事・会員増強	大賀 章弘		

◆次回のプログラム

3月5日
クラブフォーラム
(国際奉仕)(社会奉仕)



Reach Within to Embrace Humanity

岡山北西ロータリークラブ

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
 事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階
 TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288
 E-mail:hokusei@6rc.jp
<http://www.okayama-hokusei-rc.jp>
 友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ
 E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

地区スローガン

「ロータリーは人をつくる」

クラブスローガン

「親睦の絆で高める奉仕の心」

●例会場
 岡山市北区駅元町1-5
 ホテルグランヴィア岡山

●例会日
 毎週月曜日
 12:30～13:30

前回2月20日の例会記録

出席の状況

会員数 52名（内出席免除 5名） 出席者数 43名 欠席者数 9名

出席率 87.76% 前々回訂正 87.76%

欠席者 相原、藤原、原田、川本、西山、丹治、（平野）、（市川）、（中西(広)）

S . A . A .



高橋(峯)会員

結婚記念のお花を頂きました。二人でもらったので、共同でスマイルしようと提案したところ、ブイと横を向かれてしまいました。私の「ふところ」からスマイルします。



山田会員

本日の創立記念例会に配偶者の方々にはご出席していただき誠にありがとうございます。おおいにお楽しみ下さい。



山下会員

2月11日(土)にグランヴィアで友人の長男さんの結婚式がありました。結婚式のお食事はさすがに立派でした。外科の先生方とお話出来楽しかったです。



川西会員

先週の15日より18日の間、毎年の事ではありますが、友人5人と北海道にスキーに行って参りました。今年のスキー場は「手稲」「ルスツ」の2箇所でしたが、どちらも標高1,000m級の山で、滑って降りる距離は1.2km～2.0kmあります。スキーをされない方には少し分かりにくいかも知れませんが、北海道のスキー場は勇気のいるところもありますが多様なコースがあり、醍醐味があります。大変なのは、スキー場行きのバスは札幌市内のホテル迄迎えに来てくれるのですが、朝は早く6時頃起床、用意をし、スキー場迄約2時間ぐらいいはかかります。また、天候にも左右されます。今回の天気はまずまずでしたがスキー場の気温は-3度～-13度でした。このような状況の中でも、スキーは私にとっては大変楽しいスポーツで、体力の続く限り参加したいと考えております。

以上、4件 14,000円(累計 687,500円)

会長報告

会長 藤岡 温

本年度は第2の創立年度と申し上げてきましたが、その意味で、本日の例会はベテランも入られたばかりのフレッシュも等しく第2の創立会員としての記念すべき創立記念例会であります。こうして皆さんがともに一同に会することができますことをお慶び申し上げますとともに、今後も一年一年ともに積み重ねて参りましょう。

幹事報告

幹事 原 全 伸

- ・来週2月27日(月)は、当初の予定を変更しまして本年度委員長と次年度委員長・委員が集まり、次年度への引き継ぎ並びに「活動計画書」及び「予算請求書」作成にあたっての意見交換を行うクラブ協議会を開催します。
- ・2月6日の週報に掲載の理事役員会議事録の報告事項で西南RCの例会日を毎週木曜日と記載しておりましたが金曜日の間違いでした。なお、次年度より次の3クラブの例会場が変更になります。岡山RCがグランヴィアに、丸の内RCが全日空に、西南RCがアークホテルにそれぞれ変更となります。
- ・本日の創立夜間例会を記念して塩飽会員より主にご婦人向けにと少し甘口のワインをプレゼントいただきました。
- ・3月のロータリーレートは1ドル=78円です。
- ・小松原会員のお嬢様が昨年9月にご結婚されました。お嬢様の前途を祝し、末永いお幸せをお祈り申し上げます。

創立記念例会（夜間例会）



クラブ情報

「第8回理事役員会」議事録

- 1.日時 平成24年 2月 6日(月)13:30～ 場所 ホテルグランヴィア岡山 3階「トパーズ」
- 2.出席者 藤岡 温（会長） 花房 茂（副会長） 原 全伸（幹事） 樋口芳紀 山田喜広
河田 肇 大饗よし江 原田徹美 小松忠男 相原利行 岡村秀男 川西熊雄 岡本和夫
西山隆三郎
欠席者 丹治康浩 小松原隆代 大賀章弘
- 3.会長挨拶
- 4.審議事項
 - 1)2月、3月、4月の予定について ※原案通り承認
 - 2)創立夜間例会について ◎若手会員からの質問形式によるディスカッションを企画する。
◎出席された配偶者へのお土産にワインをプレゼントする。
 - 3)新地区補助金プロジェクトについて ※承認
※「旧山陽道・案内板」の設置完了、2月6日に寄贈式を行い終結となる。
 - 4)三野（市民）ゴルフ場存続を要望する市民運動について
※賛否の結論より時間をかけて検討すべき事案のため結論が出ず見送ることとする。
 - 5)東日本大震災に対するクラブ単独支援について(継続審査事項)
※クラブフォーラムで賛同をいただいた大槌中学校への理科実験教材の寄贈について先方から要望のあった備品一式(約83万円:3か年分の支援活動前倒し)を一括寄贈する。なお、お金の集め方については、3月5日のクラブフォーラムにて改めて提案することとした。

- 5.報告（連絡）事項 1) RYLAについて

【前回議事録訂正】 報告事項：例会日訂正 ※岡山西南RC：アークホテル（毎週金曜日）に訂正

寄稿文 冬の但馬 鉄道の旅 平成24年2月11日～12日

一週間前に急に思い立ち、冬の山陰を鉄道でめぐる旅に出た。今年日本海側は豪雪に見舞われており、列車の運行に多少の不安があった。吉備線、山陽新幹線を利用して新大阪駅に到着、10時5分発の特急「こうのとり5号」に乗り換え、東海道本線を下って尼崎へ。福知山線に乗り入れ、程なくして脱線事故で多くの死傷者が出た現場を通過した。宝塚を通過するとトンネルの連続で武庫川の溪谷を縫うように上っていく。途中武田尾ではホームの大半がトンネル内という珍しい駅を通過した。

篠山口の東に丹波篠山の市街地は広がっている。譜代の篠山藩主の青山忠成は家康の江戸入部の際に、「あのあたりを馬で駆けてみよ。駆けただけ土地をやる。」と言われ、その通りにした結果、今日の東京の青山墓地や青山通りといった地名が残った。また明治初期に旧藩主の青山忠誠



氏がデカンショ節を作り広めたといわれている。

加古川線が分岐する谷川駅を通過し、柏原(かいばら)そして次は本州で一番低い分水界のある石生(いそう)である。駅の東にその地はあり、北は由良川を流れて日本海へ、南は加古川を流れて瀬戸内海へと注いでいく。線路は北から東へカーブを切り、黒井駅へと向かう。春日局の生誕地の黒井城跡が左手に見える。尼崎駅から100kmの丹波竹田駅を通過し、京都府福知山駅へ列車は滑り込んだ。ここからはかつての大動脈の山陰本線である。京都一幡生間673.8kmで、かつては通しの列車もあり、魚の行商人で賑わっていた。今日では役目を終え、偉大なるローカル線に格落ちしてしまった。上夜久野を過ぎて再び兵庫県に入り、播但線が分岐する和田山駅に到着。ここからは円山川に沿ってゆるやかに下っていく。養父、八鹿、ここは越前朝倉氏の遠祖の出身地である。そして江原、冒険家植村直己氏の出身地はこのあたりである。いつの間にか積雪量が増えており、屋根のないホームには雪がうず高く積まれている。豊岡駅での降車客も多く、曾遊の地の出石方面か天の橋立方面に向かうのであろう。終点の城崎温泉駅には定刻の12時50分に到着した。

掃きだされるように改札口を出、まずは駅前通りを散策して昼食を摂った。もちろん地元産の魚料理である。その後、この地を訪れた文人墨客の足跡を記念した資料館を訪ねた。志賀直哉をはじめとする白樺派の小説家を中心に実に多い。温泉街は大谿川に沿って軒を連ねており、狭い道を行き交う人と車で混雑している。街はずれの西村屋ホテル「招月庭」に着き、早速予約しておいた家族風呂(露天、岩盤浴)を皮切りに、温泉三昧の時間が始まった。西村屋本館の湯を楽しんだ後、宿へ戻り「月下の湯」に入った。夕食後も温泉好きの妻にせかされるまま三か所の外湯「御所の湯」「まんだらの湯」「一の湯」を楽しんだ。道には丹前に下駄はききといった格好の温泉客が思い思いに行き交っている。雪こそ降っていないものの、屋根からたまに落雪があり要注意である。決して広いとはいえない温泉街であるが、木造三階建を主にした家並みは夜ともなると殊に趣が深い。宿へ帰着後、本日のメとして再び「月下の湯」へ入浴、サウナ、ジャグジーそして露天、屋内風呂と日頃の登山で鍛えた体力がこんなところで役にたっているのか、ただ単に貧乏根性丸出しなのか、もう分別がつかない状態である。湯疲れして深い眠りに陥った。

翌朝はみぞれ混じりの雪であったが、行程に支障はないと判断した。残りの外湯(4湯)めぐりに多少の未練はあったが、天候を考慮し早めの出発とした。9時57分発の2輦編成の普通列車に乗り込んだ。乗客は少なく、カン料理と温泉目当てのお客だろうと想像した。出発してすぐトンネルに入り、ここから展開される未知の地の景色に胸は膨らんだ。さらに雪深くなり、木々ことに竹は大きく撓って先端は地面に垂れている。竹野を過ぎると程なくして日本海の荒波に出くわした。ここからは隣県の鳥取に比し海岸線はきわめて複雑である。

佐津、柴山、香住と過ぎる頃、地方と第一次産業の衰退をもたらしている政治の偏向に思いがよぎった。採算性と平準化を追求するあまり、地方独自の伝統や良さが失われていく時代に暗澹たる思いがしてならない。この先不便ながらも鉄道の旅で、山陰の美しい景観を見ることができるのだろうか。

香住を過ぎ、いよいよ今回の旅の第一目的である餘部の鉄橋を渡る時が迫ってきた。鎧駅を通過しトンネルを二つ抜ける頃、これから目の前に展開する高度感を味わおうと車両の前方へ移動した。明治45年に竣工した旧橋梁は、1986年(昭和61)12月、回送中のお座敷列車が強風にあおられ転落、下の工場を潰し6名の死者を出した。この事故以降、運行規制強化による列車遅延が増加したため、2011年2月に橋長310.6m、高さ41.5mの新しい橋に架け替えられた。厳冬期にもかかわらず、橋梁の下や展望所には多くの人がみられた。

浜坂駅に11時9分に着き、1番ホームから11時15分発の1輦編成の鳥取行きに乗り換えた。湯村温泉の最寄り駅ということであるが、乗り継ぎ以外乗降客もなく、さびしい海辺の町であった。諸寄、居組に停車後、鳥取県に入り12時9分に鳥取駅に到着した。2時間弱待ち時間があり、昼食を摂り、駅前を散策した。県都とはいえ、地方の過疎化を実感した。

さて旅も終盤を迎え、14時発の特急「スーパーいなば6号」に乗り、因美線の智頭駅から智頭急行(智頭―上郡56.1km)に乗り入れ、鳥取(T)、岡山(O)、兵庫(H)の三県を走っていく。保有車両の形式称号はHOTで大半が高架上を走り、踏切はほとんどない。旧国鉄の智頭線として建設が進められていたが、不採算路線ということで建設が凍結された。平成6年第三セクターとして開業、現在では鳥取と岡山、京阪神を結ぶ路線として利用者が多い。鳥取・岡山県境の志戸坂トンネルを抜けると西栗倉村であるが、雪は見られず、陽光がさす空模様となった。大原、佐用に停車後、播州を快調に走り上郡駅に到着した。ここで走行方向が逆となり座席を直した。15時45分に岡山駅に到着。乗降客の多さと山陽地方の温暖な気候にあらためて住みやすさを実感した。

吉備線	： 備中高松 ― 岡山	11.0km	因美線	： 鳥取 ― 智頭	31.9km
山陽新幹線	： 岡山 ― 新大阪	180.3km	智頭急行	： 智頭 ― 上郡	56.1km
東海道本線	： 新大阪 ― 尼崎	11.5km	山陽本線	： 上郡 ― 岡山	53.8km
福知山線	： 尼崎 ― 福知山	106.5km	吉備線	： 岡山 ― 備中高松	11.0km
山陰本線	： 福知山 ― 鳥取	141.8km	計		603.9km

例会情報

本日のメニュー (2月27日(ミリオン和食))

御井 鶏井(若鶏塩焼き ヘルシーセロリ 刻み大根 ミニトマトスライス 大葉 檸檬 京葱 黄韭
煎り胡麻 胡麻油)

小鉢 小松菜と揚げのたいたん(豚ばら 人参 木の芽) 赤出汁 香物(三種)

次のメニュー (3月5日(ヘルシー和食))

御井 下津井産穴子丼(安芸菜漬け 煎り胡麻 粉山椒)

添え物 白磁練り込み千代口(鮪時雨煮 針生姜 セルフィーユ 玉子焼 酢取り茗荷)

赤出汁 香物(三種)